

報道関係各位

2011(平成23)年 10月13日

## 島民の声から生まれた海士オリジナルの母子手帳が 2011年度グッドデザイン賞を受賞！

海士町のお母さんたちの意見を取り入れて新開発された母子手帳が、「2011年度 グッドデザイン賞」(財)日本産業デザイン振興会主催)を受賞しました。

この母子手帳は、海士町と博報堂生活総合研究所(東京都港区、以下「生活総研」)が共同開発したもので、日本全国のお母さん・お父さんとの対話を通じて‘次世代の母子手帳’の実用化と普及を進める「日本の母子手帳を変えよう」プロジェクト(生活総研が2010年10月開始)の一環です。今年4月から利用を開始しており、海士町では10月現在までで3名の女性が、この新母子手帳とともに‘ママへの道’を歩んでいます。



この母子手帳は、下記のような特長を備え、長期に渡って使い続けられるように作られています。

- 子どもの医療歴、お薬歴などの記録を成人まで残せる記録欄
- パパも交えて夫婦での子育てを後押しする情報やイラスト
- 妊娠・出産・育児の必須知識を確実に伝えるための巧みな編集
- 精神的負荷の大きいお母さんを支え、育児の喜びを感じてもらうための癒し・励ましコンテンツ

海士町は、島内に産院が無いなどの厳しい出産環境にありながら、祝い金や各種助成金などのサポートを行っており、新母子手帳にも「この島で子どもを産み育ててくれるお母さん、お父さんへの町からの感謝として、子育てを支える必須道具として手渡したい」(山内道雄町長)との想いが込められています。海士町は今後も、多くの子どもが生まれ育つ『子育ての島』へ進化することを目指し、支援策を継続して参ります。

なお、この母子手帳は「健康・ケア、育児・介護用品」の分類でグッドデザイン賞を受賞しました。今年度のグッドデザイン賞は応募総数3,162件、受賞件数は1,112件、「健康・ケア、育児・介護用品」を含む『身の周りのデザイン』部門では、98件が受賞しています。



**GOOD DESIGN  
AWARD 2011**

### ■グッドデザイン賞とは

財団法人日本産業デザイン振興会が主催する、日本唯一の総合的なデザイン評価・推奨制度。50年以上にわたり、優れたデザインを通じて「より豊かなライフスタイル」と「良いビジネス」を導く運動として展開され、のべ受賞件数は35,000件以上。近年、商品や広告分野のみならずサービスやビジネス開発、都市環境の整備や暮らし方の見直しなど様々な分野でデザインが求められており、グッドデザイン賞もその対象領域を広げている。

《本件についてのお問い合わせ窓口》

海士町教育委員会 地域共育課 (担当:松前、西上) 【電話】 08514-2-1221 【Fax】08514-2-1633